

アンケート結果と分析・考察

－ 2年間にわたる小中連携による外国語活動の成果の検証－

1 調査の目的

様々な小中連携の取組を模索しながら2年間にわたり実践が続けられた。お互いに授業を見あい、連携に関わる話合いの場を数多く経験し、明らかに教員の意識は変容し、授業改善が進められてきた。では、実際にその授業を受けた児童生徒の情意面はどう変容したのだろうか。その取組が、どのように児童生徒に影響を与えたのだろうか。3回のアンケート調査を行うことで、児童生徒の情意面の変容を調べることにした。

2 調査の方法

2地区の小中学校3校ずつ計6校（それぞれの地区、2つの小学校と1つの中学校）に対してアンケートを3回実施した。実施協力校の状況ならびに、実施時期と対象学年は以下のとおりである。

実施協力校（2008年7月現在）

資料1

| 地区名 | 学校名 | 分類 | 対象者数 | 備考（年間授業時数等） | |
|-----|---|----------|----------|-------------|--------------------------|
| X地区 | A小学校 | 外国語活動拠点校 | 5年生 92名 | 35時間（※1） | 1, 2年 10時間 3, 4年 20時間 |
| | | | 6年生 93名 | 35時間（※1） | |
| | ※1 「ALT(T1)と担任(T2)」と「担任(T1)と協力員(T2)」のTTを交互に実施 | | | | |
| Y地区 | B小学校 | 一般校 | 5年生 125名 | 19時間（※2） | 1, 2年 3時間 3, 4年 19時間 |
| | | | 6年生 137名 | 19時間（※2） | |
| | ※2 ALT(T1)と担任(T2)のTT | | | | |
| | C中学校 | 一般校 | 1年生 152名 | 140時間（週4時間） | |
| Y地区 | D小学校 | 一般校 | 5年生 92名 | 35時間（※3） | 1, 2年 1時間 3, 4年 1時間 |
| | | | 6年生 110名 | 35時間（※3） | |
| | ※3 担任(T1)とALT(T2)のTT | | | | |
| Y地区 | E小学校 | 一般校 | 5年生 79名 | 35時間（※3） | 1, 2年 0時間 3, 4年 0時間 |
| | | | 6年生 87名 | 35時間（※3） | |
| | ※3 担任(T1)とALT(T2)のTT | | | | |
| | F中学校 | 一般校 | 1年生 121名 | 105時間（週3時間） | |

実施時期と対象学年

資料2

| | | 1回目アンケート | 2回目アンケート | 3回目アンケート |
|------|---------|----------|----------|----------|
| 実施時期 | | 2008年7月 | 2009年2月 | 2009年7月 |
| 対象者 | 小学校第5学年 | ○実施 | | ◎実施 |
| | 小学校第6学年 | ○実施 ※ | ○実施 ※ | ◎実施 |
| | 中学校第1学年 | ○実施 | | ◎実施 ※ |

アンケートの内容は同じ質問を用いたが、3回目のアンケートのみ、児童生徒への記述による回答を求めた。※が付いている1回目・2回目の小学校第6学年と3回目の中学校第1学年は同じ子供たちである。実際のアンケート用紙は、本章末に載せる。

3 検証方法

児童生徒の情意面の変容は以下の3通りの方法で検証を進める。

検証1 1回目アンケートと3回目アンケートを比較する

1年の同時期における各学年の実態の比較を行う。ただし、比較する母集団は同一ではない。

検証2 同一生徒の変容を追う

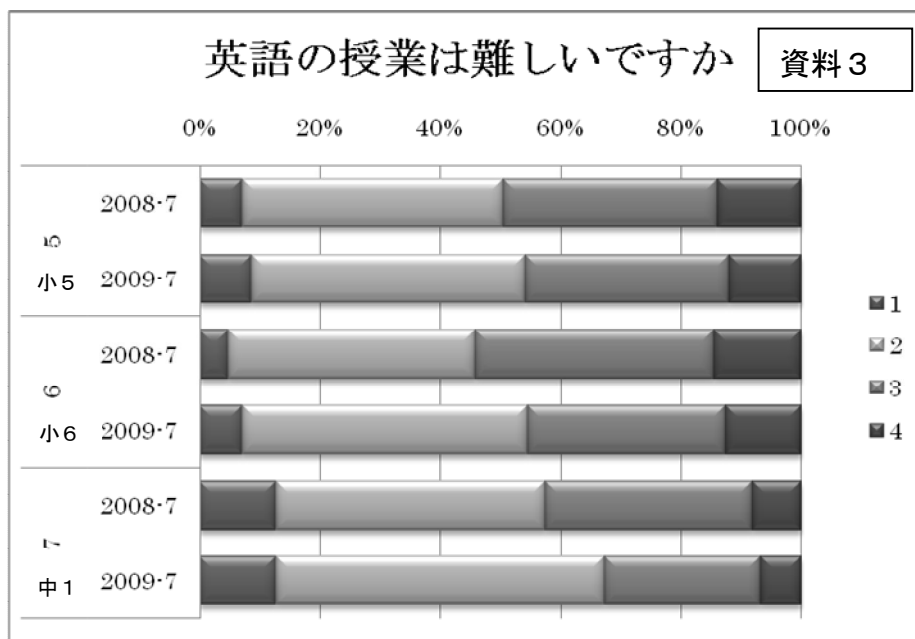
2008年度の小学6年生の1回目のアンケート・2回目のアンケート並びに2009年度の中学1年生の3回目のアンケート（資料2の表中の※印）の変容を調べる。

検証3 記述による回答の傾向を調べる

3回目アンケートに書かれた小学5年生・小学6年生・中学1年生の回答から、どんな傾向が見られるかをまとめる。

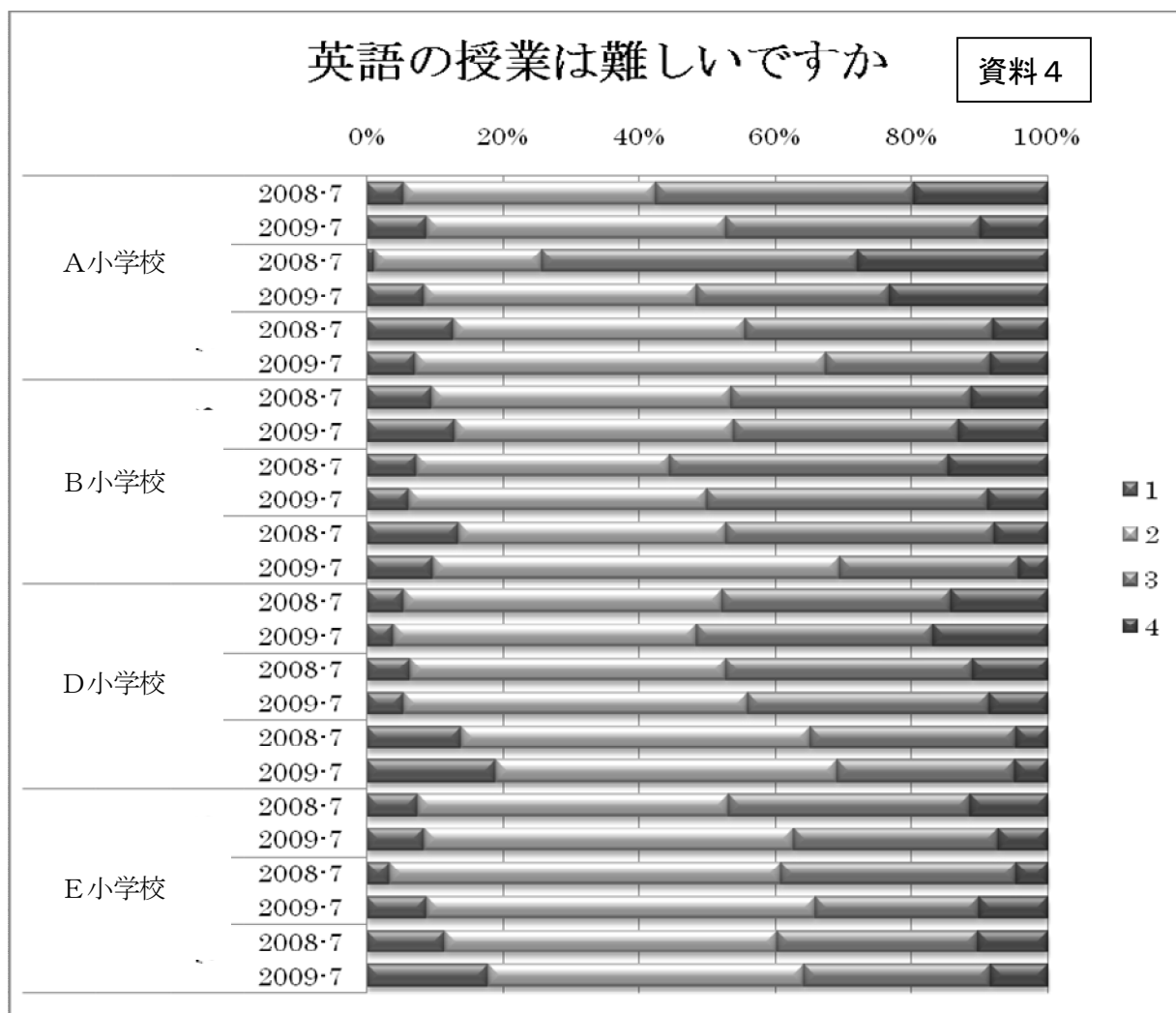
4 検証1の結果と考察：英語の授業はどう変化しているのか

「英語の授業は難しいですか」の質問に対する回答の比較を資料3に示す。グラフ左の数字は学年を示し、5（小学5年生）6（小学6年生）7（中学1年生）を意味するが、どの学年についても英語の授業の難しいはこの1年で増加している。



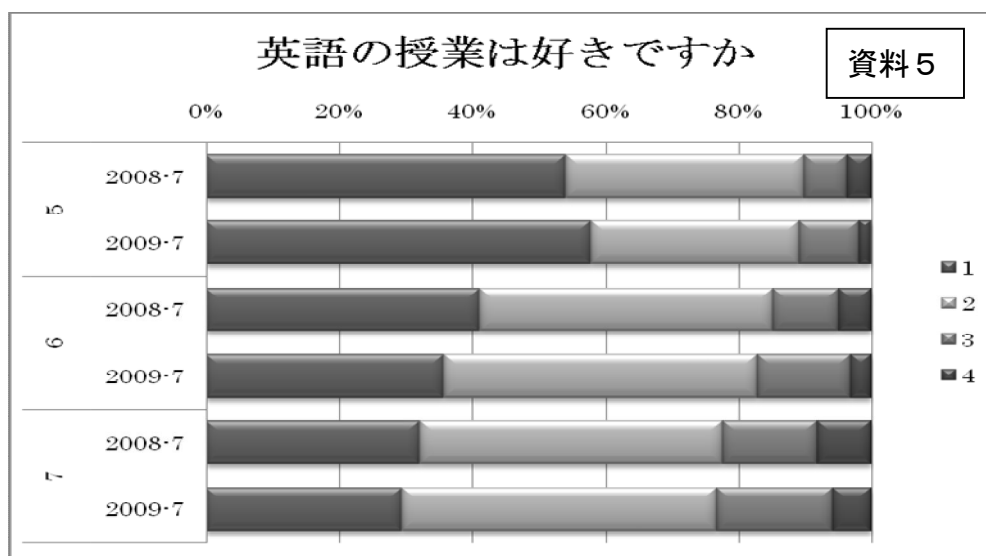
1 = とても難しい 2 = やや難しい 3 = やや簡単 4 = とても簡単

では、どの学校でも同じ傾向があるのでしょうか。同じ質問の学校ごとの変化を資料4に示す。グラフ中の「A小学校の5・6・7」は、A小学校の5年生・6年生・C中学校の1年生のうちA小学校出身者をそれぞれ示している。大きくは資料3に示したように難しさの増加傾向は見られるが、学校によってはその程度がまちまちである。ただ、小学校間で見られた差がなくなり、平均化してきていると言える。



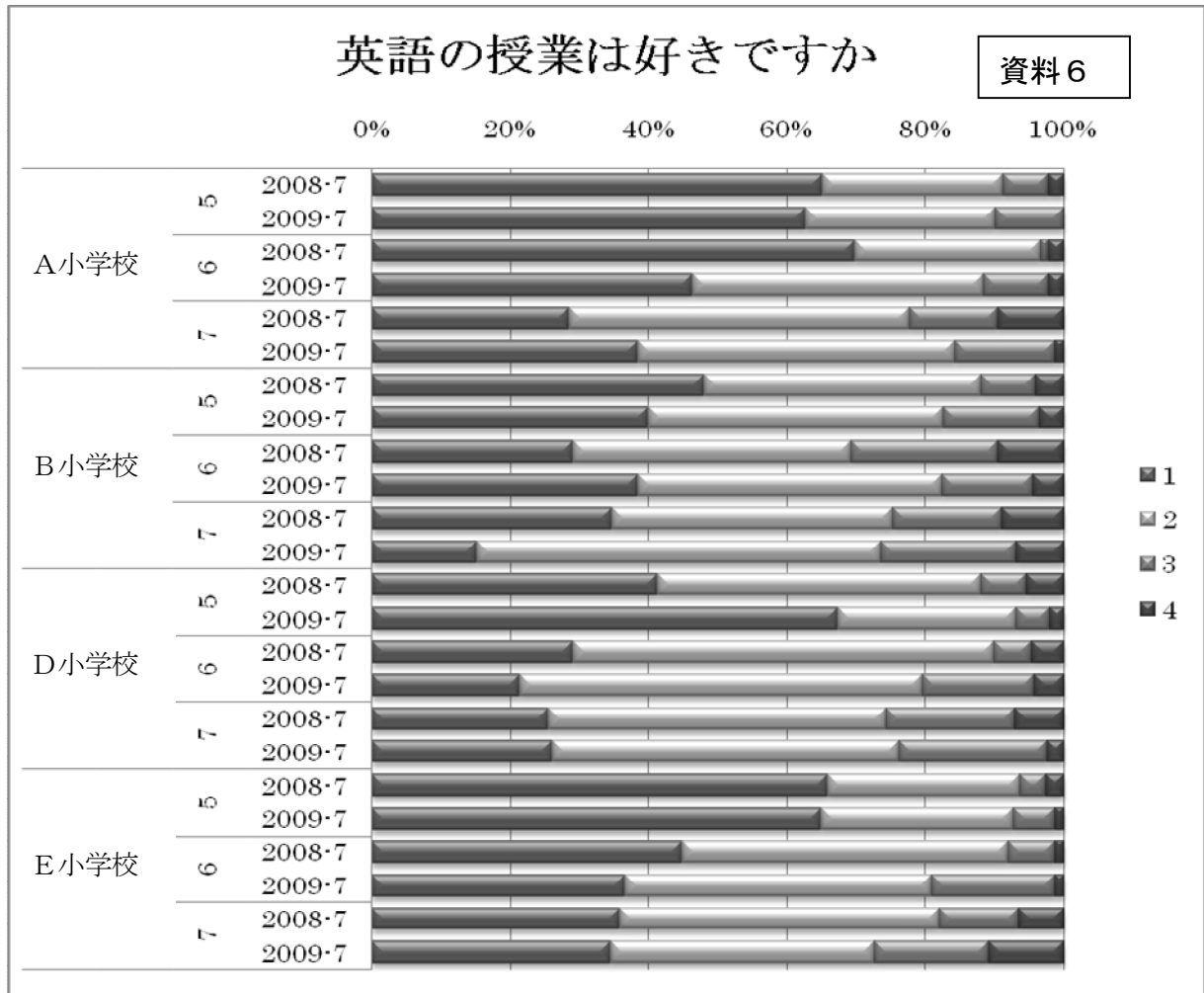
1 = とても難しい 2 = やや難しい 3 = やや簡単 4 = とても簡単

次に、「英語の授業は好きですか」の質問について調べてみる。資料5を見ると、どの学年でも、好きの割合が減っていることが分かる。ただし小学5年生の「1 とても好き」は、割合を増やしているのは特筆できる。



1 = とても好き 2 = まあまあ好き 3 = 少し嫌い 4 = とても嫌い

学校ごとの変化を見てみると**資料6**のようになる。**資料1**に示したように、D小学校・E小学校では、5年生から英語の授業を始めるので、英語の授業に対する意欲の高さが目を引く。D小学校・E小学校の5年生の回答「1 とても好き」を昨年度と本年度で比べると、1年間で差がなくなっている。

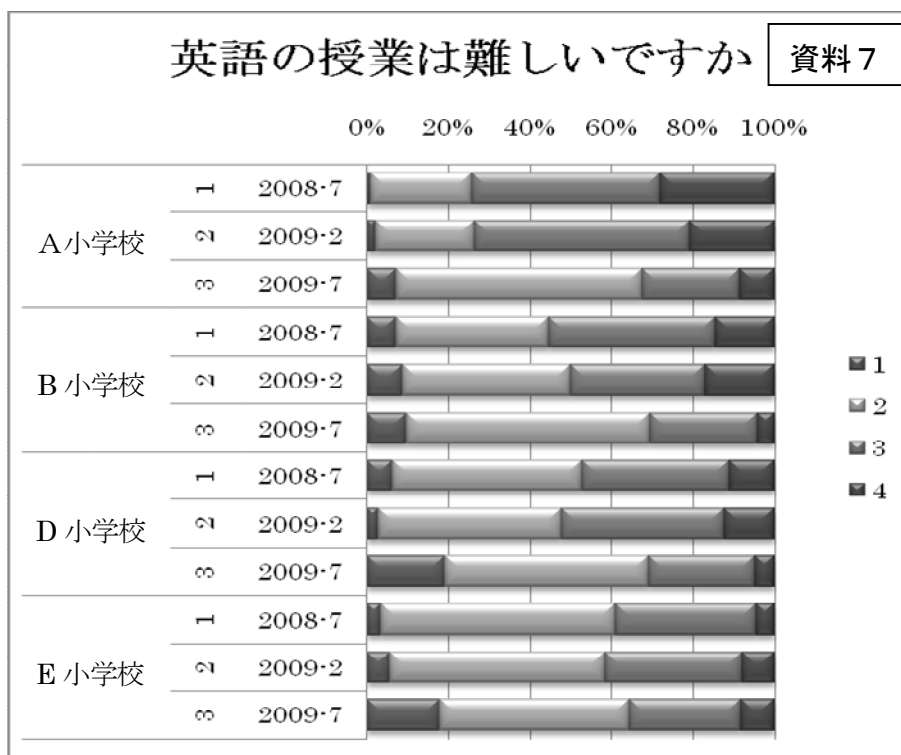


1 = とても好き 2 = まあまあ好き 3 = 少し嫌い 4 = とても嫌い

資料3～6から、小中連携の取組を進めてきた結果、2つの小学校間での差が縮まってきている部分が見られるようになってきたと言えるのではないだろうか。

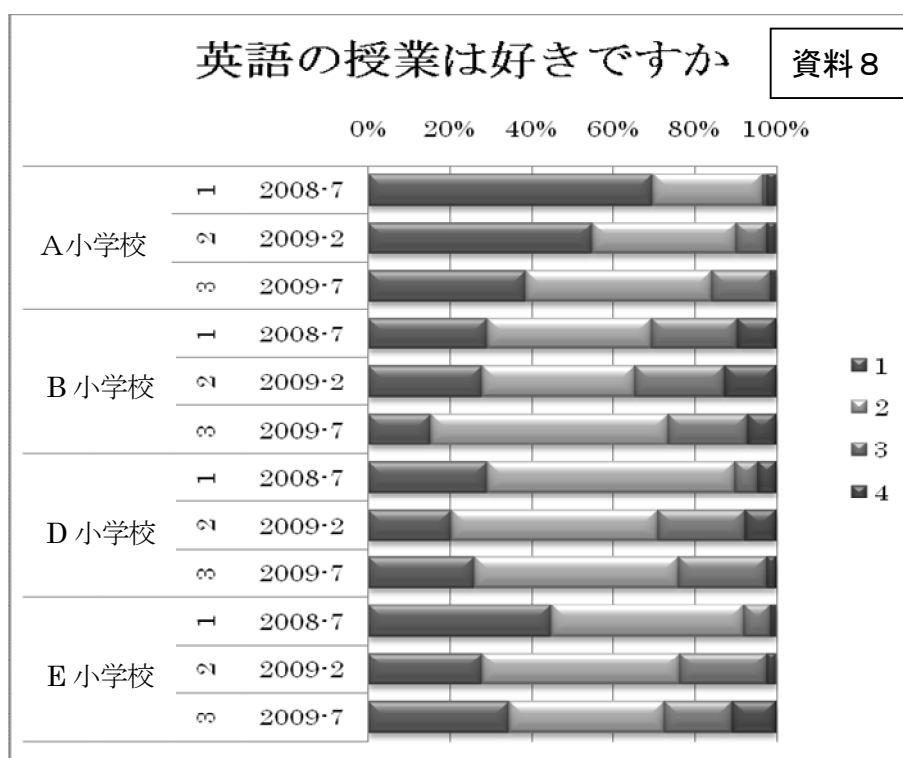
5 検証2の結果と考察：児童生徒はどう変容しているのか

同じ児童生徒に3回にわたり同一のアンケートを行った。**資料7**は、「英語の授業は難しいですか」という質問に対し、4校の小学6年生が、7月と2月、そして翌年中学校に入学し7月に実施した3回のアンケート結果（グラフ中の1・2・3）である。**資料3**が示す母集団が違う小学6年生と中学1年生の回答を比較したものと同一ような変化を示している。**資料3**では、回答の「1 とても難しい」と「2 やや難しい」を足した数の割合が、昨年度の6年生が45%程度で中学1年生が55%程度と増加しており、本年度も6年生が55%程度で中学1年生が65%程度と増加している。**資料7**においても、小学校により6年生の授業が難しいと思っている児童の割合は違っているが、中学1年生になると65%程度と同じような数に収まってしまふ。小学校で行われている外国語活動の授業と大きく違う中学校の英語の授業に対して感じる難しさの程度が同じであり、かつ小学校よりも難しく感じてしまうのは、中学校で新しく始まる「文字を書くこと、読むこと」への指導が加わるためであろう。



1 = とても難しい 2 = やや難しい 3 = やや簡単 4 = とても簡単

次に「英語の授業は好きですか」の質問に対して、同様に同じ児童生徒の3回にわたるアンケート結果の推移と、母集団が違う小学6年生と中学1年生の昨年度ならびに本年度のアンケートの結果を比較してみたい。(資料8参照)



1 = とても好き 2 = まあまあ好き 3 = 少し嫌い 4 = とても嫌い

資料5をみると、「1 とても好き」と「2 やや好き」を合わせた数字の割合は、昨年度も本年度も

ほぼ同様で6年生が85%程度、中学1年生が75%程度と若干減少している。**資料8**では、小学校ごとに変化にばらつきはあるが、次の2点が傾向として見られる。

- ① どの小学校も6年生の7月と2月を比較すると、好きの割合が減少しているが、外国語活動の授業が始まったばかりのD小学校とE小学校では、その減少の割合が高く、小学校の早い時期から少しずつ学習をしているA小学校とB小学校では、減少の割合が低い。
- ② 中学1年段階では、おおむね好きの割合が75%程度になっているが、小学校英語の拠点校であるA小学校は6年生の段階から好きの割合が非常に高く90%を超しているの
で、中学になっても他の3校に比べてかなり高い85%程度の割合を維持している。

これらのことから、外国語活動の拠点校であるA小学校の数字が示すように、外国語活動の効果的な授業を行っていけば好きの割合を高い状態で保つことができ、中学1年においてもその高い状態を保つことができるのではないかと考えることができる。まだまだ授業が始まったばかりの外国語活動の授業であるが、教員が授業に慣れ、カリキュラムや教材の効果的な利用が進めば、外国語活動の授業が好きである児童を増やすことができ、中学になってもそれをある程度持続できるようになるのではないかとと思われる。

6 検証3の結果と考察：児童生徒は英語の授業をどうとらえているのか

本年度7月の第3回アンケート調査においては、記述式の質問項目をそれぞれ5項目あげた。児童生徒が英語の授業をどうとらえているのか、児童生徒の記述の傾向から考察をする。

(1) 小学校アンケートの結果と考察

資料9は小学校5年生・6年生に行った記述式アンケートの回答の主なものである。集計は全アンケート中200名程度を抽出して行った。

ア 英語の授業で、楽しいと思うときは、どんなときですか

小学5年生の約60%、小学6年生の約70%を占める回答が、「ゲームをしているとき」である。英語の授業の楽しさは、他の授業では味わえないゲーム的な活動を通してのものであることは間違いない。そして、それらゲーム的な活動の中で、友達や先生との会話を体験したり、新しい英語を教えてもらったりした喜びなどを実感しているようだ。その中でも、みんなで一緒に声を出して発音をする一体感も大きな要素であり、特にALTではないかと予想できるが、先生がおもしろいことを言ったりすることも授業を楽しいものにする要素であるようだ。

イ 英語の授業で、困ったと思うときは、どんなときですか

外国語活動の授業を参観すると、子供たちは楽しそうにALTや担任の話を聞き、ゲーム的な活動を楽しんでいる様子を目にする。全体的に楽しそうに授業が展開していることは、先のアンケート項目からも予想できるが、このアンケート項目のようにあえて「困ったと思う瞬間」を尋ねてみると、私たちが予想していないような場面で「ちょっとした困った感」を感じていることが明らかになった。外国語活動では「教え込まない」ことが強調され、「分からないことがあってもいいんだよ」「間違ってもいいんだよ」「分かることから予想してやってみよう」などの言葉掛けを行うことが多い。しかし、その曖昧さ、練習の不徹底さが、「ちょっとした困った感」をつくっていることは明らかなようである。子供たちの回答にあるように、「会話でどう言えばいいのかわからない」「発音の仕方がわからない」「先生や友達の言っていることがわからない」などの気持ちを理解して、外国語活動の授業が展開されなければならないであろう。ここに外国語活動の授業の工夫のしどころがあるように思われる。子供たちが楽しいと感じることができるゲ

ーム的な活動の中に、ドリル的要素を入れ、十分に練習を積んでから会話活動に入ったり、何度も聞く時間を十分に確保したりする必要があると考えられる。

ウ 日ごろあまり話さない子と話したり、男女間で話したりすることをどう思いますか

外国語活動の成果の1つに、「日ごろあまり話さない子と話したり、男女間で話したりする機会があるので、クラスの間関係が良くなる」がある。ゲーム的な活動で意識的に仲の良い友達同士だけで話さないような工夫がされることが多い。子供たちはこれをどうとらえているのだろうか。回答は空欄が多い。好意的な回答を合わせて30%程度、否定的な回答を合わせて10%程度であるので、空欄が過半数を占めている。「3・4年生がゲームののりが一番良く、5・6年生になると男女を意識しだして仲の良い子とかたまって活動することが増える」というようなことがよく言われる。また、中学でも「中3になってその学年を始めて担当すると、それまでにペア活動など男女で会話をしたりする活動がやられていないと、なかなかやろうとしない」「中1から男女のペア活動に慣らしておく、中3になってもそうするのが自然という雰囲気になり抵抗なく行える」ようなことが言われることが多い。これらのことは、確かに言えるのではないだろうか。今回の調査では、3・4年生のデータがないが、5年生と6年生を比べただけでも否定的な意見は4%程度から13%程度へと増加している。30%を占める好意的な感覚をもっている子供たちをうまく使い、あまり意識していない過半数の子供たちを巻き込むことで、そうすることが自然という雰囲気をつくっていくことが大事なのではないだろうか。それも外国語活動が行われる5・6年生でその抵抗感が始まりだすことから、他の授業ではなかなかゲーム的な活動を仕組むことができないので、ゲーム的な楽しい活動を主体とした外国語活動の授業が果たす役割としても日頃話をあまりしない子や男女間での会話の体験は大きなものであるのではないかと考えられる。

エ 英語の授業があることで、生活の中で変わったことはありますか

5年生では、「家族と英語でしゃべったり話題になる」が一番多い回答である。5年生から外国語活動の授業が始まることを考えると、保護者の関心の高さもあつてか、どんな英語を習っているのか尋ねるような話題があつたり、弟や妹に英語を教えたり、兄や姉と習った英語で話したりしている様子が見られる。「英語で書いてあることが少し分かる」「英語が使える（言える）ようになった」「外国人の友達が増えた（話のできた）」など、学校で学習した内容が少し使えるという役立ち感を感じられる環境が少しずつ子供たちの周りに増えてきた様子も見られる。

オ 中学校の英語の授業について、期待することや不安なことがありますか

「中学校の授業は難しくなるので、ついていけるか不安」という回答が、5年生でも6年生でも一番多い。ただ「ついていけるか不安、でも楽しみ」という記述も見られることから、どんな授業が展開されるか分からない状態であるので、当然不安感もちながらも期待感も併せもっている状態なのであろう。個々のアンケート用紙を見ると、「中学校の授業は難しくなると聞いたので…」や「今英語の授業についていけない感じなのに、中学ではついていけるのか心配」など、気になる記述も見られる。不安感も期待感もあわせもった状態であるからこそ、小学校の授業者（担任）がどんな話をするのかは、大きな鍵になるであろう。子供たちの不安感をあおるような「中学校の英語の授業は難しいから…」という話をするのではなく、英語を学ぶことでどんな良いことがあるという期待感を高揚させるような声掛けを是非していただきたいと願うばかりである。また「今の授業についていけない」という実感についても理解し、日々の授業の中で自信をもたせるような練習を工夫するような授業改善に結び付けていきたい。6年生のアンケートには、5年生以上に具体的な不安点が挙げられているので、小中連携の話題にして授業改善の一環として具体化していきたい内容である。

(2) 中学校アンケートの結果と考察

資料 10 は中学校 1 年生に行った記述式アンケートの回答の主なものである。集計は全アンケート中 300 名程度を抽出して行った。

ア 英語の授業で、楽しいと思うときは、どんなときですか

小学校の結果と同様、「ゲームをやっているとき」が一番多い回答である。中学校の授業でも、ゲーム的なコミュニケーション活動が多く展開されていることが分かる。特徴的なのは、「英文・単語を読めた・書けたとき」と、読んだり書いたりする内容についても、楽しいと感じている生徒が多いことである。難度を増加させる「読む活動」「書く活動」ではあるが、達成感や充実感を感じることができる活動でもあるからであろう。これは、その他の回答にも見られるように、「うまく言えた」「覚えられた」「意味がわかった」など、どれも達成感を伴うものがあげられている。課題を提示し、それが達成できるように努力させ、最終的に達成させるような授業展開が多く行われていることが予想される。これは今後も中学校の授業改善の大切にしたいポイントである。

イ 英語の授業で、困ったなあと思うときはどんなときですか

回答が多かったのは、「書けない」「読めない」という内容であり、予想どおり文字が新しく導入される中学校の英語の授業においての最大の困難点は、文字を通して読んだり書いたりする活動であるようだ。また中学校ではテストも始まるので、小学校のアンケートにはなかった「テストのとき」という回答も現れている。中学校の授業改善のポイントの 1 つとして、文字指導へのスムーズな導入、より丁寧な文字指導と単語の綴りを覚えるなどの語彙指導が求められる。

ウ 小学校の英語の授業が、中学校の英語の授業で役立っていると感じますか

圧倒的に多かった回答が、「小学校で習った単語が中学校で出てきたとき」であり、これは大城・横山(2007)に示されている「中学で『小学校で学んだ単語・表現』に再び触れることは、『小学校で英語をやったよかった』と思える 1 つの要因となる」ことを裏付ける結果である。小中連携にかかわって考えれば、小学校段階で多くの英単語に触れさせ慣れ親しませてもらうことで、中学校の英語におけるコミュニケーション活動への意欲を増すことにつながると考えられる。特に子供たちが興味をもっている物に関する英語を知っていることは、中学校でのコミュニケーションの幅を広げる結果となるであろう。

エ 中学校の英語の授業への要望はありますか

まだ中学 1 年の 1 学期を終える時期のアンケートであることから、中学校の英語の進め方に慣れ始めた段階であるので、回答に空欄が目立ち、特に要望はみられない。ただ、一部の生徒は授業の進み方が速すぎてついていけない実態も知っておきたい。

オ 小学校で、もっとこんなことを学習したかったと思うことはありますか

この質問への回答も空欄が目立っている。文字にかかわる難しさが強いからか、小学校から学習しておけば難しさが軽減できるのではという期待が現れている。しかし、実際に小学校段階で文字指導を始めてしまうことが良いとは結論付けることはできないであろう。

(3) 小学校・中学校アンケートのまとめ

2 つのアンケートを小中連携における授業改善への示唆という観点でまとめてみると、次の 3 点があげられる。

- | |
|--|
| ① ゲームは、授業を楽しくさせ、意欲の向上につながるので、小学校でも中学校でも活用したい。ただし、その楽しさの内容は吟味する必要がある。単なる「ゲームが楽しい」ではなく、学びの場があるゲーム的活動を行いたい。 |
|--|

- ② 小学校では, 新しく学習する英単語や表現を楽しく学ぶためのドリル的活動や分け隔てなく話ができる人間関係作りを目指す会話活動を多く設定したい。
- ③ 中学校では, 文字指導を丁寧に行うとともに, 英語による本物のコミュニケーションの場を教室で確保するような活動を多く設定したい。

小学校アンケート 5年生／6年生

() 内は人数

| 5年生 (206) | 6年生 (212) |
|---|---|
| <p>英語の授業で、楽しいと思うときは、どんなときですか。</p> <p>ゲームをしているとき (122)</p> <p>英語を話しているとき (24)</p> <p>友達や先生と会話をするとき (19)</p> <p>新しい英語を教えてもらうとき (17)</p> <p>英語を聞いているとき (10)</p> <p>英語がうまく発音できたとき (8)</p> <p>先生がおもしろいことを言うとき (5)</p> | <p>英語の授業で、楽しいと思うときは、どんなときですか。</p> <p>ゲームをしているとき (151)</p> <p>友達や先生と会話をするとき (41)</p> <p>新しい英語を教えてもらうとき (15)</p> <p>みんなで発音しているとき (5)</p> <p>先生がおもしろいことを言うとき (5)</p> |
| <p>英語の授業で、困ったと思うときは、どんなときですか。</p> <p>会話でどう言えばよいか分からないとき (35)</p> <p>単語の発音の仕方がわからないとき (20)</p> <p>指名されても答えられないとき (20)</p> <p>先生や友達の言っていることが分からないとき (17)</p> <p>英語の単語を忘れたとき (15)</p> <p>英語がうまく話せないとき (15)</p> <p>英語の意味が分からないとき (12)</p> | <p>英語の授業で、困ったと思うときは、どんなときですか。</p> <p>単語の発音の仕方が分からない (41)</p> <p>会話でどう言えばよいか分からない (28)</p> <p>英語の意味が分からないとき (26)</p> <p>英語がうまく話せないとき (16)</p> <p>先生や友達の言っていることが分からないとき (11)</p> <p>難しい単語があつてよく覚えられない (10)</p> <p>指名されても答えられないとき (10)</p> |
| <p>英語の授業では、クラスの子と英語で話すことがあります。日頃あまり話さない子と話したり、男女間で話したりすることをどう思いますか。</p> <p>クラスの仲も良くなるからいいと思う (27)</p> <p>話したことがない人と話す良い機会だ (26)</p> <p>ちょっと恥ずかしいけど、楽しい (9)</p> <p>男女で話をしないから緊張する (5)</p> <p>男女間で話をすると、楽しくない (3)</p> | <p>英語の授業では、クラスの子と英語で話すことがあります。日頃あまり話さない子と話したり、男女間で話したりすることをどう思いますか。</p> <p>話したことがない人と話す良い機会だ (36)</p> <p>クラスの仲も良くなるからいいと思う (33)</p> <p>あまり親しくない子と話すのは難しい (13)</p> <p>どうってこともない (なにも思わない) (9)</p> <p>男女で話をしないので、話をすると話せるようになると思う (8)</p> |

| | |
|---|--|
| <p>英語の授業があることで、生活の中で変わったことはありますか。</p> <p>家族と英語でしゃべったり話題になる (42)</p> <p>英語が使える (言える) ようになった (8)</p> <p>英語で書いてあることが少し分かる (4)</p> <p>先生の言っている英語が少し分かる (3)</p> | <p>英語の授業があることで、生活の中で変わったことはありますか。</p> <p>英語が使える (言える) ようになった (22)</p> <p>家族と英語でしゃべったり話題になる (18)</p> <p>英語で書いてあることが少し分かる (10)</p> <p>先生の言っている英語が少し分かる (7)</p> <p>外国人の友達が増えた (話ができた) (5)</p> |
| <p>中学校の英語の授業について、期待することや不安なことがありますか。</p> <p>中学校の授業は難しくなるので、ついていけるか不安 (37)</p> <p>英語を書くことを学ぶことが不安 (10)</p> <p>中学校でどんな英語を勉強するのか楽しみ (9)</p> <p>習った英語がちゃんとと言えるか不安である (5)</p> <p>忘れる言葉があるので覚えられるか不安 (4)</p> <p>もっと難しい英語が出てくるのが不安 (3)</p> | <p>中学校の英語の授業について、期待することや不安なことがありますか。</p> <p>中学の授業は難しくなるので、ついていけるか不安 (31)</p> <p>難しくなると思うので覚えられるか不安 (15)</p> <p>英語を書くことを学ぶのが不安 (13)</p> <p>たくさんの会話文や難しい (新しい) 単語が出てくるのが楽しみ (8)</p> <p>今英語の授業についていけない感じなのに、中学ではついていけるのか心配 (6)</p> <p>中学校でどんな英語を勉強するのか楽しみ (5)</p> <p>難しくなるから、がんばりたい (5)</p> <p>英語はうまく話せないし、もっと難しくなるから不安 (5)</p> <p>新しい単語がでてきてわからないかもしれないことが不安 (4)</p> <p>難しい英語を読めるか心配 (4)</p> |

中学校アンケート (318) () 内は人数

英語の授業で、楽しいと思うときは、どんなときですか。

| | |
|-------------------------|-------|
| ゲームをやっているとき | (120) |
| 英文・単語を読めた（発音できた）とき | (35) |
| 英文・単語が書けたとき | (34) |
| 英語を話すときうまく言えた（会話ができた）とき | (33) |
| 問題が分かった（解けた）とき | (16) |
| 英文・単語を覚えられたとき | (16) |
| 英文・単語の意味が分かった（理解できた）とき | (14) |

英語の授業で、困ったなあと思うときはどんなときですか。

| | |
|-------------------------------|------|
| 英文・単語が書けない（スペルがわからない）とき | (64) |
| 英文・単語が読めないとき | (48) |
| 英文・単語の意味が分からないとき | (43) |
| 単語がうまく発音できないとき | (16) |
| 英語が話せない（話しかけられて答え方が分からない）とき | (12) |
| テストのとき（問題が解けないとき） | (11) |
| 先生の言っていることが分からない（そのまま進んでいく）とき | (10) |
| 英文が聞き取れないとき | (10) |

小学校の英語の授業が、中学校の英語の授業で役立っていると感じますか。どんなとき？

| | |
|--------------------------|-------|
| 小学校で習った単語が中学校ででてきたとき | (117) |
| 曜日・月日・国の名前・動物・季節・果物や野菜 | |
| 小学校で習った表現が中学校ででてきたとき | (27) |
| あいさつ・天気はなんですかという質問・自己紹介 | |
| 英語の発音ができるとき | (26) |
| アルファベットが分かるとき（発音の仕方がわかる） | (14) |

中学校の英語の授業への要望はありますか。

| | |
|----------------------------|------|
| 授業を進めるのをゆっくりにし、分かるようにしてほしい | (12) |
| ゲームをしたい（覚えられるように） | (7) |
| 宿題を減らしてほしい | (5) |
| 外国の人と会話したい（会話する機会） | (4) |

小学校で、もっとこんなことを学習したかったと思うことはありますか。

| | |
|-----------------------|------|
| 単語を書く機会（練習）がほしかった | (39) |
| アルファベットを覚えたい（単語を書くこと） | (22) |
| いろんな単語を習いたかった | (22) |
| 簡単な文法（文の作り方） | (12) |
| 英文や単語の読み書きの練習 | (9) |

7 まとめと今後の課題

2年間にわたる小中連携による外国語活動の成果を3回のアンケートを通して考察してきた。新しく小学校に導入された外国語活動の指導にかかわる研修が進み、小中連携の取組が継続していく中で、少しずつではあるが成果は現れ、子供たちから多くの授業改善のヒントをもらうことができた。検証1・2・3から得られた知見は以下のようなものである。

検証1 1回目アンケートと3回目アンケートを比較する

→ 小中連携の取組を進めたことから小学校間の差がなくなってきた。

検証2 同一生徒の変容を追う

→ 小中間の段差はなくならないが、教師が授業に慣れ、カリキュラムや教材の効果的な利用が進めば、英語の授業が好きな児童を増やすことができ、中学になってもそれを持続させることができる。

検証3 記述による回答の傾向を調べる

→ ゲーム的活動を利用し意欲を喚起させる。小学校ではドリル的活動・人間関係作りの活動を、中学校では本物のコミュニケーションの場作りとしてゲーム的活動を活用したい。

小学校の外国語活動は正式な導入を平成23年度に迎える。本研究が実践してきたように、小学校の外国語活動の授業と中学校の英語の授業をお互いに見合ったり、小中連携の会議を行ったりすることは必要になってくるであろうし、行うことで効果を上げることができると期待できる。小学校の担任と中学校の英語教師がお互いの役割を理解し、お互い効果を上げた授業につながるような声掛けをしあえる環境を早く実現させたいと願う。

参考文献

大城賢・横山純子(2007)「小学校英語が中学校英語へ与える影響と効果—小学校で4年間英語活動を経験した中学1年生の場合—」JASTEC 口頭発表, 旺文社ホームページに資料掲載

http://hapilab.obunsha.co.jp/gakkai/img/report/JASTEC2007_autumn_oshiro_yokoyama.pdf

小中連携による外国語活動 小学生用アンケート

- 1 小学校名 () 小学校 先生に聞いて学校番号をマークしてください。
- 2 学年 () 年
- 3 組 () 組

質問① 英語の時間・活動について、あなたの感じる場所を選んでください。アンケート用紙の数字を○で囲み、その数字をマークしてください。

- | | | | | |
|---|------------|------------|-----------|------------|
| 4 英語の時間・活動は難しいですか。 | 1 = とても難しい | 2 = やや難しい | 3 = やや簡単 | 4 = とても簡単 |
| 5 英語の時間・活動で、英語を聞くことは難しいですか。 | 1 = とても難しい | 2 = やや難しい | 3 = やや簡単 | 4 = とても簡単 |
| 6 英語の時間・活動で、英語を話すことは難しいですか。 | 1 = とても難しい | 2 = やや難しい | 3 = やや簡単 | 4 = とても簡単 |
| 7 英語の時間・活動で、先生や友達と英語で会話することは難しいですか。 | 1 = とても難しい | 2 = やや難しい | 3 = やや簡単 | 4 = とても簡単 |
| 8 英語の時間・活動で、外国のことを勉強するのは難しいですか。 | 1 = とても難しい | 2 = やや難しい | 3 = やや簡単 | 4 = とても簡単 |
| 9 英語の時間・活動は好きですか。 | 1 = とても好き | 2 = まあまあ好き | 3 = 少しきらい | 4 = とてもきらい |
| 10 英語の時間・活動で、英語を聞くことは好きですか。 | 1 = とても好き | 2 = まあまあ好き | 3 = 少しきらい | 4 = とてもきらい |
| 11 英語の時間・活動で、英語を話すことは好きですか。 | 1 = とても好き | 2 = まあまあ好き | 3 = 少しきらい | 4 = とてもきらい |
| 12 英語の時間・活動で、先生や友達と英語で会話することは好きですか。 | 1 = とても好き | 2 = まあまあ好き | 3 = 少しきらい | 4 = とてもきらい |
| 13 英語の時間・活動で、外国のことを勉強するのは好きですか。 | 1 = とても好き | 2 = まあまあ好き | 3 = 少しきらい | 4 = とてもきらい |
| 14 あなたは今、週に1回以上、英語塾（英会話学校・家庭教師を含む）に通っていますか。 | 1 = はい | 2 = いいえ | | |

質問② 英語の授業で、楽しいと思うときは、どんなときですか。（マークカードに記入する必要はありません。）

質問③ 英語の授業で、困ったなあと思うときは、どんなときですか。(マークカードに記入する必要はありません。)

質問④ 英語の授業では、クラスの子と英語で話すことがあります。日頃あまり話さない子と話したり、男女間で話したりすることをどう思いますか。
(マークカードに記入する必要はありません。)

質問⑤ 英語の授業があることで、生活の中で何か変わったことはありますか。(マークカードに記入する必要はありません。)

質問⑥ 中学校の英語の授業について、期待することや不安なことがありますか。あったら書いてください。(マークカードに記入する必要はありません。)

()年()組 氏名()

アンケートへの協力ありがとうございました。このアンケート用紙とマークカードの両方を先生に提出してください。

小中連携による外国語活動 中学生用アンケート

- 1 中学校名 () 中学校 先生に聞いて学校番号をマークしてください。
 2 出身小学校名 () 小学校 先生に聞いて学校番号をマークしてください。
 3 組 () 組

質問① 中学校の英語の授業について、あなたの感じるところを選んでください。アンケート用紙の該当の数字を○で囲み、その数字をマークしてください。

- | | | | | |
|---|------------|------------|----------|-----------|
| 4 英語の授業は難しいですか。 | 1 = とても難しい | 2 = やや難しい | 3 = やや簡単 | 4 = とても簡単 |
| 5 英語の授業で、英語を聞くことは難しいですか。 | 1 = とても難しい | 2 = やや難しい | 3 = やや簡単 | 4 = とても簡単 |
| 6 英語の授業で、英語を話すことは難しいですか。 | 1 = とても難しい | 2 = やや難しい | 3 = やや簡単 | 4 = とても簡単 |
| 7 英語の授業で、英文を読むことは難しいですか。 | 1 = とても難しい | 2 = やや難しい | 3 = やや簡単 | 4 = とても簡単 |
| 8 英語の授業で、英文を書くことは難しいですか。 | 1 = とても難しい | 2 = やや難しい | 3 = やや簡単 | 4 = とても簡単 |
| 9 英語の授業で、先生や友達と英語で会話するのは難しいですか。 | 1 = とても難しい | 2 = やや難しい | 3 = やや簡単 | 4 = とても簡単 |
| 10 英語の授業で、外国の文化を勉強するのは難しいですか。 | 1 = とても難しい | 2 = やや難しい | 3 = やや簡単 | 4 = とても簡単 |
| 11 英語の授業は好きですか。 | 1 = とても好き | 2 = まあまあ好き | 3 = 少し嫌い | 4 = とても嫌い |
| 12 英語の授業で、英語を聞くことは好きですか。 | 1 = とても好き | 2 = まあまあ好き | 3 = 少し嫌い | 4 = とても嫌い |
| 13 英語の授業で、英語を話すことは好きですか。 | 1 = とても好き | 2 = まあまあ好き | 3 = 少し嫌い | 4 = とても嫌い |
| 14 英語の授業で、英文を読むことは好きですか。 | 1 = とても好き | 2 = まあまあ好き | 3 = 少し嫌い | 4 = とても嫌い |
| 15 英語の授業で、英文を書くことは好きですか。 | 1 = とても好き | 2 = まあまあ好き | 3 = 少し嫌い | 4 = とても嫌い |
| 16 英語の授業で、先生や友達と英語で会話するのは好きですか。 | 1 = とても好き | 2 = まあまあ好き | 3 = 少し嫌い | 4 = とても嫌い |
| 17 英語の授業で、外国の文化を勉強するのは好きですか。 | 1 = とても好き | 2 = まあまあ好き | 3 = 少し嫌い | 4 = とても嫌い |
| 18 あなたは今、週に1回以上、英語塾（英会話学校・家庭教師を含む）に通っていますか。 | 1 = はい | 2 = いいえ | | |

質問② 小学校の英語の時間・活動を思い出して、あなたの感じるところを選んでください。アンケート用紙の該当の数字を○で囲み、その数字をマークしてください。

- | | | | | |
|---------------------------|-------------|--------------|---------------|----------------|
| 19 英語の時間・活動は楽しかった。 | 1 = とてもそう思う | 2 = まあまあそう思う | 3 = あまりそう思わない | 4 = まったくそう思わない |
| 20 英語の時間・活動は今役に立っている。 | 1 = とてもそう思う | 2 = まあまあそう思う | 3 = あまりそう思わない | 4 = まったくそう思わない |
| 21 英語の時間・活動はもっとあった方がよかった。 | 1 = とてもそう思う | 2 = まあまあそう思う | 3 = あまりそう思わない | 4 = まったくそう思わない |

22 英語の時間・活動でもっとアルファベットや文法も勉強しておきたかった。

1 = とてもそう思う 2 = まあまあそう思う 3 = あまりそう思わない 4 = まったくそう思わない

23 小学校の英語の時間・活動は好きだった。

1 = とても好きだった 2 = まあまあ好きだった 3 = 少し嫌いだった 4 = とても嫌いだった

24 あなたは、小学校6年生の時に、週に1回以上、英語塾（英会話学校・家庭教師を含む）に通っていましたか。 1 = はい 2 = いいえ

質問③ 英語の授業で、楽しいと思うときは、どんなときですか。（マークカードに記入する必要はありません。）

質問④ 英語の授業で、困ったなあと思うときはどんなときですか。（マークカードに記入する必要はありません。）

質問⑤ 小学校の英語の授業が、中学校の英語の授業で役に立っていると感じますか。それはどんなことですか。（マークカードに記入する必要はありません。）

質問⑥ 中学校の英語の授業への要望はありますか。あったら書いてください。（マークカードに記入する必要はありません。）

質問⑦ 小学校で、もっとこんなことを学習したかったと思うことはありますか。あったら書いてください。（マークカードに記入する必要はありません。）

() 年 () 組 氏名 ()

アンケートへの協力ありがとうございました。このアンケート用紙とマークカードの両方を先生に提出してください。